35 都市域におけるドライアイストラップによる蚊類の発生状況調査

○津田良夫・倉橋 弘・林 利彦・葛西真治・伊澤晴彦・佐々木年則・沢辺京子・富田隆史・二瓶直子・小林睦生（国立感染研・昆虫医科学）

Mosquito survey in urban areas by using dry ice-trap

Tsuda, Y., Kurahashi, H., Hayashi, T., Kasai, S., Isawa, H., Sasaki, T., Sawabe, K., Tomita, T., Nihei, N., Kobayashi, M.

2003年5月より12月まで、1kgのドライアイスと吸引型のトラップを組み合わせる蚊成虫の定期採集を行った。トラップは原則として週1回、24時間設置し、捕獲された昆虫をすべて実験室に持ち帰り種類の同定を行った。採集地は東京都5、埼玉県3、神奈川県1、千葉県2の合計11ヶ所である。全体で約15,000頭の昆虫類が捕獲されたが、このうち蚊類は23%（約3,400頭）を占めた。アカイエカ（含むチカイエカ）、ヒトスジシマカなど10種類の蚊が採集されたが、アカイエカが全体の76%、ヒトスジシマカが23%を占め、残りの種類はいずれも捕獲総数が数匹で全体の約1%に過ぎなかった。捕獲されたアカイエカ成虫の一部を用いて、吸血・採卵し、次世代成虫が無吸血産卵するかどうかを調べた。場所による季節消長の違い、チカイエカの捕獲状況などについてまとめる。

36 ドライアイストラップで捕集された都市域の昆虫類

○倉橋 弘・津田良夫・林 利彦・葛西真治・伊澤晴彦・佐々木年則・沢辺京子・富田隆史・二瓶直子・小林睦生（感染研・昆虫医科学）

Small sized insects collected by a CDC model dry ice-trap in urban areas of Tokyo, Chiba and Saitama
Kurahashi, H., Tsuda, Y., Hayashi, T., Kasai, S., Isawa, H., Sasaki, T., Sawabe, K., Tomita, T., Nihei, N., Kobayashi, M.

東京、千葉、埼玉の都市住宅戸外、感染研敷地内12地点でのドライアイストラップによる蚊類発生状況調査（2003年5月－12月、週1日24時間）の際に同時に捕集されたその他の小形昆虫類は8目となり双翅目が最も多かった。双翅目はカ科を含め21科であった。特に多かったものはチョウバエ科（4363頭）、タマバエ科（3502頭）カ科（3465頭）、クロバネキノコバエ科（1259頭）の順であった。捕集された昆虫の種類構成はトラップ設置場所周辺の都市環境を反映したものと思われるので、その構成割合を分析することにより、蚊類の発生状況と環境との関連を知ることも可能であると思われる。各ステーションの捕集昆虫の構成割合から、ステーション間の類似性を5つのクラスター分析法で解析した。4つの方法で蚊の捕集割合の大きい地点（6地点）と他の昆虫類の占める割合の大きい地点（6地点）とに2分された。